

アベ政治、終わらせよう

春の温かい日差しを受けながら、市内を宣伝に出かけています。街頭からの訴えに、出てきて聞いていただく市民、手を振ってこたえてくださる市民もみえますが、まだまだこれからです。

「皆さん、暮らし向きはいかがですか？」と話し始めます。「アベノミクス」



でふところ具合が良くなったなどという話は、私の周りでは全く聞かれません。3月議会で国保税の大幅引き上げ案が出た時は、「今でも払いかねているのに、どうして暮らしでいけるのか」との怒りの声が多く寄せられました。この上に消費税が上げられたら、庶民は生きて行けません。「庶民に増税、金持ち・大企業

かまい敏行さんと、参議院選への訴え せん。には減税」のアベ政治を変えなくては、暮らしも景気も良くなりません。

夏の参院選・比例で共産党を大きく伸ばして

「70年守ってきた平和憲法をひっくり返す『戦争法』は、廃止しかありません。」いま地震の災害に苦しむ熊本に、自衛隊が派遣され救援活動に日夜取り組んでいます。国民のために頑張る自衛隊には、だれもが感謝し頼りにしています。しかし、「南スーダンPKO」に派遣されている自衛隊は、武器使用ができ、戦闘に参加できるようになりました。また、イラク駐留のアメリカ軍から、過激派組織ISへの軍事作戦へ日本の参加を要請されたら拒否できなくなります。こんな日本国民を守ることと無関係の他国で「殺し殺される」危険が、アベの「戦争法」によって現実のものになってきます。

7月に予定される参議院選は、暮らしを守る、平和憲法を守る、そのためにアベ政治の暴走をストップさせることが最大の争点です。日本共産党は選挙区での野党の共同と、比例選挙での共産党躍進を訴えて頑張っています。

天名地区に新消防分署設置の調査費

新年度予算の中で、天名地区の市民センター・公民館、子育て支援センターの移転とともに、「鈴鹿市南部の消防体制の強化をはかる」として「消防分署の建設も含めた一体整備事業」の調査費2,000万円が計上されました。これから新しい消防分署の計画が進み出します。

消防分署などの一体整備事業のための建設場所としては、いま工事が進んでいる中勢バイパスに面した所が想定されています。新分署は、昨年出された「消防力適正配置調査」報告書で、津波浸水が予想される白子の南署をバックアップする機能を持つとされ、今後の消防設備計画の中でも最優先に位置付けられています。

分署設置に向けて消防職員定数も15人増員に

また、3月議会で可決された「市職員定数条例」の改正の中でも、消防職員の定数が現在の200人から、15人増やして215人となりました。これは、ほぼ1分署を運営するための必要人数であり、新分署設置に向けて年次的に増やしていくこととなります。早い時期での実現が期待されます。

震度7の熊本、「活断層」の怖さ

4月15日から起こっている熊本を中心とする地震によって、改めて日本各地に走っている「活断層」の存在を再認識させられました。「三重の活断層」というパンフを見ると、鈴鹿にも西部山麓を南北に走る「菰野断層」、東部には「四日市断層」が鈴鹿にまで達しています。熊本の事態は「よそ事」ではありません。

東日本大震災があつてからは、「南海トラフ」地震による津波に関心が向いていましたが、活断層による内陸地震にも注意しなければなりません。

4月1日の昼前、三重県南東沖を震源とする地震（M6.1、最大震度4）があり、鈴鹿市は震度2でした。その日、私は市庁舎の9階にいましたが、緊急地震速報の直後に建物全体がユラーリと揺れて、しばらく続きました。それから半時間ぐらいは「船酔い」になったような感じでした。「震度2」でこれだったら、もし「震度7」が来たらどれほどの揺れや振動が来るのだろうか？想像するだけでも怖くなります。

石薬師地区で議会報告会を開催



4月22日夜、石薬師公民館で市議会主催の「議会報告会」が開かれました。全議員が3か所に分かれて（今回は牧田・河曲・石薬師）参加、私は石薬師会場の班長として、始めと終わりにあいさつしました。

報告する内容は、3月議会で審議された予算などで、4つの委員会ごとに担当者が

議会報告会、奥が議員、手前が住民 審議した概略について説明しました。また今進められている「防犯灯のLED化」についても報告しました。

各報告のあとで、住民が自由に質問する時間もあり、「国保税の引き上げ」や「Cバス運賃の値上げ」など負担が増える問題、また「特別職の手当アップ」や「議員の報酬」についても住民からの意見が出されました。



班長として始めにあいさつをしました

この報告会は、議会で審議された議案について報告するもので、各議員の一般質問のことや個人的な意見は言わない、というルールで、住民の質問や意見にも担当者が代表して答えるという方式でした。住民にとっては、物足りなかったかもしれません。詳しいことは、議会だよりや議事録、また共産党市議団としての議会報告も見てください。

今年も田んぼでコメ作りをします

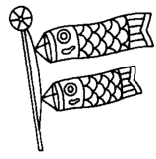


3月末に行なわれた「溝ぶしん」

毎年1反の田んぼで、コメを作っていますが、今年も準備を進めています。私の地元でもコメを作る人は少なくなりました。必要経費も出ない米価では、作るほど損をします。しかし田んぼを荒らしてはおけませんので、趣味の家庭菜園のように考えて続けています。

でも自分で作ったコメは、おいしいのです。

ずいそう



がんばらない,あきらめない

60才を過ぎてから、前よりも体のことが気になってきた。というより、老化が進んできていることが自覚できるようになってきた。老眼がだんだん進む、耳の聞こえも怪しくなってくる、夜パソコンを見ていると画面がかすんでくる、忘れ物をしょっちゅうする、などの現象である。

体は老化しても、心まで老化しないように

先月、かかりつけの医院で大腸カメラの検査を受けた。すると「ポリープ」が1個発見され、と同時に切除してもらった。あとで聞くと、悪性ではなかったとのことであるが、そのまま放っておくと悪性化することもあるという。カメラ検査をしなかったら分からなかったことで、ドッキリした。

続いて今月には、病院で首のMRIによる検査を受けた。結果を聞くと、頸椎の変形個所があり、それが痛みの原因になっているのでは、とのことであった。以前の腰痛のときのように、筋トレなど頑張れば治るか聞くと、そんなことをすると悪化するから安静に、と言われた。要するに治らないと宣告されたようである。

考えてみれば、60年以上も生き続けてくれば、体の各部品にガタが来るのは当然のことだ。ムリすることは避けて、マイペースで行動することを考えなければならない。また、各部品のメンテナンスにも努める必要がある。

医師・作家の鎌田實さんは「がんばらない、あきらめない」「がんばりすぎちゃいけないけれど、あきらめてもいいんです。そのバランスを心で上手にハンドリングする。加減が大事なのです。」と言っている。

体がついていかない、馬力が出ないと嘆くよりも、いまの自分で何が出来るか、どこまで出来るか、をみる。あきらめない心が大事だ。心まで老化していかないように、バランスを取る、加減をする。この鎌田さんの言葉を、自分に当てはめてみながら、分相応に出来ること、やるべきことを考えていこう。



4月、藤原岳に登りました